常磐毎日
発行所　平市田町八番地　常磐毎日新聞社　電話（代表）104・105番

御婚礼家具調度品
自家製造直売の店
鈴木家具店
平市公園入口　四三七四二

「今晩」　北よりの風、晴れのち曇り
「明日」　北よりの風曇り
「あさって」　今晩明日とも風波ある程度

観光ラインに本腰

県議会で陳情を採択

バシフィックラインの開発

常磐地区の観光資源を開発、パシフィック・ラインを形成しようと常磐地区観光連盟ではこれら資源の現地視察を行うとともに、さきに県当局に対し「湯本コース」「白水コース」の資源を開発してほしいとの陳情書を提出していたがさきの県議会で正式に採択された旨の連絡が二十二日事務局に入った。

このため連盟では今月末に現地する第三次調査を早急にまとめ、十一月上旬と早急に係官を招平、細部計画を説明する一方早急に着工するよう働きかけることになった。採択された陳情によると常磐地区は県民地区の最短距離に位置し、温泉をはじめ幾多の観光資源を有しており、これを開発して海と山を結ぶ、南かん道路「パシフィック・ライン」を建設しようというもの。

内郷でダニ狩り

右翼テロ含む六名逮捕

漫談をまえに暴力テロ一掃にあたっている内郷署は二十三日朝内郷市宮町平太郎三六無職前科三犯山口好明(三二)同町蟹子前科二犯菅原四犯小池純中央(三)同町入山二無職前科二犯菅本秀雄(三)同町川平六七二前科六犯佐藤春吉(三)同町蟹子前科二犯菅原市蟹子無職少年(二)の六名を恐喝傷害、恐かつなどの疑いでつかまえた。同署では引き続き六名を任意で取調べる。

百キロで吹っ飛ばす

平署が一斉検問で検挙

平窓交通課では二十三日午後三時ころから平市神谷字滝内二地内国道上で国道ガスピード測定機を利用して他学的な取締をしていたところ、四倉方面から平に向って時速一〇〇キロから一〇五キロの猛スピードで走って来た中型ハイヤー六台を発見、停止をして取調べたところ北茨城私立病院中郷診療所の医師会の連中一行三十名で四倉町玉山で「まつたけ狩り」の帰りで全員が酒を呑んでおり、取調べの警察官に対して「警察官がなんだ」「メーターなんか判らない」と暴言をはき喚つてかかつたもので、スピード違反と公務執行妨害で逮捕したもの。

風俗営業法の違反

平署近く20業者を調査

平窓防犯課では防犯活動の一環として金窓員を動員、二十二日二後十時から二十三日二前四時まで深夜における営業警察を実施して深夜営業、不良なとの取締りを行い四てん家庭の防犯診断を実施したこの取締によつて検行一件を検挙したほか飲てんの施錠不完全六件、自転車の放置施錠なと二十一件、職務質問四十六件を実々注意喚起した。なお深夜営業をしていた平市町一帯の二十業者については近く任意出頭を求め風俗業法違反の疑いで厳重に取調べることになつた。

また秋の防犯運動は十一月十五程で実施する時間は午前九時から午後四時

日まで実施するが犯罪のない明るい街づくりに市民の協力を望んでいる。

37万キロを出荷

平窪ことしの梨は豊作

平市赤井果樹出荷組合では九月十七日から出る十七日まで十五日入り)に対し二万四千箱を出荷、約一千万円の収入をあげた。昨年は目標二万箱に対し一万八千百九十六箱だった。

このように出荷が大巾に伸びたことは技術が進歩、栽培に細々改良が加えられたためといわれるが、同組合では二千一日に後

バラ園は花盛り

四倉、吉田さんが栽培

四倉町戸田字三つつみ内、吉田都広さん(六三)は四、五年前から自宅前のニアール(二反歩)の庭を利用「バラ園」を造り春秋の二回会費制で一般に観賞させている。

ことしの春には近郷近在から若い女性が団体で観賞に訪れたがバラを愛する人々で大賑いを見せた。

このバラ園には濃艶な花が色とりどりに咲き乱れるが、秋は花が小さいが色彩は一段と美しく咲くことがなかつたが、過般地元紙の書きことはもちろんのことである

東京だより

浅沼さんの死

城山山人

人間機関車こと浅沼さんが死んだ。しかも大衆の面前で、堂々と刺殺された。こんなバカバカしい事件はない。テレビでみても、突進して来た犯人を押えた警官の方が悪者のようにみえる。

浅沼さんとわたくしの知り合いはその昔から……。浅沼氏が早稲田を卒業して間もないころだから彼の青年のころであつた三宅正一氏とともに新潟にあつて組織し宣伝に努め、そして各地で演説会を開いた。保守的な新潟としてはまさに革新的な事柄だつた。

農民に対して新しい思想を吹き込むために、事務所をつくつてそこを本部とし、新しい党を初めた農民運動のために来たこのであり、注目の的となつていたので、もう三十五年も前のことである。しかし演会を開けば直ちに解散となり、言論の自由は失なわれていた。弁士がまだ開口一番、臨席という警察が満やかな当時はまだ特高警察のあつたのみで、弁士中止の命令が立会の警官によつてなされた。会場は大騒ぎとなると、すかさず解散の命令となり、それでも演説つていると検挙されて、留置場に一週間くらいはだまつて放り込まれてしまう有様であつた。当時はこれが当然として、いやら抗議しても文句に対の決意であつたなつかしい浅沼氏らの工作はからず人を通められて、この頃正にもあげず、苦闘した。そして逆にかが国初めての小作争議を起して、警官隊とわたり合い、やや声が枯れた程度であつて、主謀者として浅沼、三宅の両氏のほか十数名の農民が検挙され、有罪と決つて新潟刑務所に入獄することになつたとき、われも浅沼氏を見送りに刑務所の門までゆき、元気で行つていらつしやいと、列車の窓口で別れるようなつもりで、浅沼氏が鉄の門の中に姿を消すまで見送つた記憶を思い出した。

それから二十余年も会つたことがなかつたが、過般地元紙の書きことはもちろんのことである

品の良くない話ですが

この頃加藤先生宅に伺いした時の話。僕はお伺いする30分も前からトイレに行きたいの我慢していたので、先生の家に入るや否や「アイヤ、失礼!!」とばかりにトイレに一目散…。なになに先生の家のトイレはどうが、ですつて。いや、ゆつたりとしてエエです。でもおどろいた事にトイレの前が二畳敷くらいなつて漫画の本が置いてあるのにはびつくり致しましたデス。僕もアイデアにつまるとトイレに行きますが、いやはや、これは一段上ですな。

叱られますか しら十時開店

藤越　平市

店員訓練の時間がとうしてもほしいので十一月一日から当分の間十時開店を致します。お許し下さい

（但し日曜祭日は八時半開店はご従来どうり六時です）

常磐交通が優勝

秋の四社（常磐交通、関彫商店、大黒屋、亀井商店）親善野球大会は二十三日前九時から絶好の野球日和に恵まれた平ユグランドで常々しく繰り展げられ、最高潮裏に幕交の中野投手が選ばれた。戦績は次の通り。

▽第一試合
常交18－2大丸
▽第二試合
関彫5－4亀井
▽三位決定戦
亀井23－0大丸
▽決勝
常交6－0関彫

魚菜市況

（単価キロ当り円）

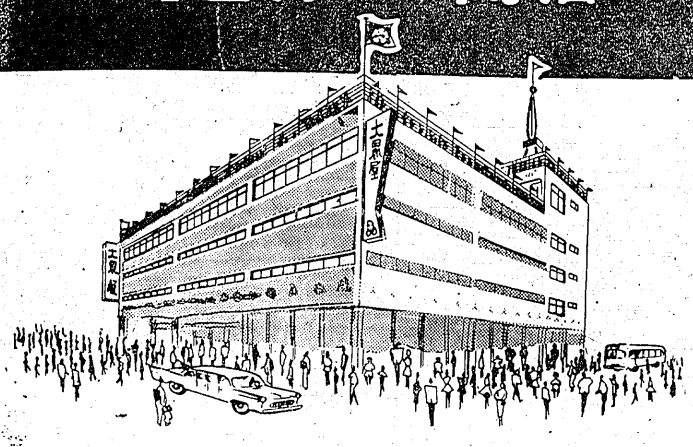
名称	産地	最高	最低
▽ホウレン草	東	一一六	八〇
〃	〃	五一	二〇
〃	〃	五一	二〇
▽カブ	畑	二一〇	一〇〇
〃	〃	二一〇	一〇〇
〃	〃	二一〇	一〇〇
▽ニンジン		六〇一二〇	三〇一〇
▽ゴボウ		三〇一〇	一八一二
▽ダイコン		四二一〇	二〇一〇
▽タマネギ		二〇一〇	四〇一〇
▽タマナ		四〇一〇	五〇一〇
▽キュウリ		五〇一〇	一八一〇
▽ナタ豆		一八一〇	五一一八
▽サツマイモ		五一一八	五五一三〇
▽シャガイモ		五五一三〇	七〇一三〇
▽キリイモ		五〇一五	
▽ナシ			
▽イチヂク			
▽ミカン（二三K入）			一二〇〇一六〇〇
▽リンゴ（一六一二〇K入）			一〇〇〇一四〇〇
▽タマゴ			二一一八

菓子段手売平凡

磐城支社来訪　自制署次長に栄転の小松署部（磐城磐次長）は二十四日二前八時四十四分小名浜発列車で出発した、離任あいさつのため二十二日本社磐城支社を訪れた。

ヨシダカバン
平市駅前

12月開店　新入社員150名大募集



働きがいのある仕事が百貨店では山ほどあります
アナタはドンナ仕事に向くでしょう
販売係、事務係、放送係、警備、保安、電気、配送　その他イロイロ

◉受験資格
販売係　事務係　放送係　女子　16才より25才まで　男子　18才より30才まで　（経験は問いません）
警備係　保安係　雑務係　男子……60才まで　女子……40才まで
電気係　配送係　男子……30才まで

◉提出書類
イ、履歴書（市販されている身上書付用紙）……1通
ロ、写真（上半身正面、手札型）
◉提出先……平公共転業安定所又は株式会社大黒屋総務課
◉申込締切……昭和35年11月10日
◉試験面接日は追つて各個人宛にご通知致します。

くわしいことは、平公共職業安定所又は株式会社大黒屋総務課へお問合せ下さい

新らしく生まれる楽しいあなたの職場
皆様の利益を護る店
大黒屋百貨店
平市三丁目　電話（代表）2191

王くん　512

NHK第1【今晩の】ラジオ福島

6.05 劇「ほえろアンデス」
30 1丁目1番地
7.15 ニュースハイライト
30 三つの歌
8.00 お父さんはお人好し
8.30 私は誰でしょう
9.10 ニュース解説
25 芸能ホール
10.10 時の動き
30 日本のどこかで
11.10 総選挙の焦点
30 昔の話今の話
6.00 あばれ剣法
30 フクちゃん
7.10 録音ニュース
30 歌謡曲アワー
8.00 落語「わかり目」
30 ミュージックプレゼント
9.00 お楽しみ演芸会
30 連続ドラマ「夜光虫」
10.05 連続浪曲
30 リズムアワー
11.05 劇「皇女和の宮」
25 レ談アワー

【明　朝】

5.05 村のアンテナ
40 市場往来
6.15 村の広場
40 「父母平のこと」
7.15 県民の時間
45 朝の訪問
8.05 ガボット
うたのおばさん
9.05 主婦日記
35 改造の顛末
5.15 朝の教室
45 農家の皆さんへ
6.20 ピアノでお早よう
55 歌謡学校コーラス
7.10 モーニングエコー
35 歌のない歌謡曲
8.05 お早よう皆さん
30 ママの日記
9.15 チヤツカリ、ウツカリ夫人
30 ドラマ「虹は歌う」

NHK【今　晩】テレビ

6.00 こどもニュース
30 ヨーロッパの交通事情
7.15 バス通り裏　個
30 私の秘密
8.00 歌の広場
30 お父さんの手帖
9.00 現代人間模様
9.30 さんまとにしん

生徒寮が店開き

田人中二十五名が宿泊

田人村、田人中学校（校長渡辺伊助氏）の生徒寮がこのほど開所した。この寮は六年間に辺地のため生徒たちの通学に支障をなくそうとして建設されたもので毎年寒さの厳しくなる十月に開所、遠隔地の生徒を収容するもので、季節宿泊所ともいわれている。

ことしは全校生徒百五十名のうち二十五名が四室に分れ宿泊しているが、毎年通学にも好成績を収め、本年四月には二十五名全員が高校に進学している。とくに遠距離長期が炊事番や社会、数学などの授業を行っているほか生徒達も当番制で炊事、掃除などをするなど規律正しい生活を送っている。

（写真は田人村生徒寮の生徒達）

九千キロを移植

石城七浜の種アワビ

福島県アワビ組合連合会の役員会はこのほど開き、十一月はじめ宮城県牡鹿郡大原町の寄磯、前網両漁協組から種アワビ三千七百五十キロ、岩手県大船渡市末崎漁協組から六千キロ、計九千七百五十キロを買い付けて石城七浜に移植することを決めた。これは昨年より二千二百五十キロ多いが、種アワビの値段もチリ非波の影響で キロ当たり千百円前後にあがっている。宮城県の種アワビは平均直径五センチ、岩手県は十センチで一年から二年間の養殖期間をおく。各漁の購入量次のとおり（単位キロ）▽泊ノ内三七五▽久之浜三七五▽中之作五〇〇▽勿来一二五▽植田一、一二五▽下神白一、二五〇▽江名一、二五〇▽豊間一、二五〇▽永崎一、五〇〇。

小浜港を県管理に

11月11日に公聴会開く

磐城市の小名浜港務所では十一月十一日午前九時から勿来市役所で勿来の小浜港を県管理にするための公聴会を開く。公聴会は県から河港課長高野技師、赤津勿来市長ら十一時半ごろ市役所着、同市長室で小浜港の整備計画、県管理移管条件などの説明に対する利害関係など意見を取り交わすものである。

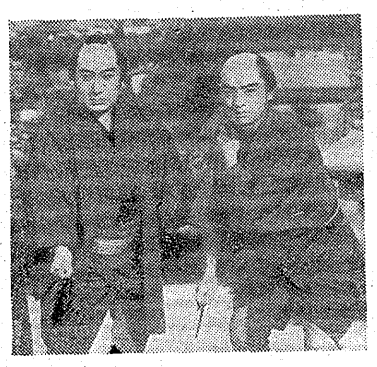
磐城で狂犬病予防注射

磐城市では小名浜、江名地区の第二回狂犬病予防注射を次の日程で実施する。料金一千円、未登録犬は三百一千円。

◇二十五日＝午前九時―十一時弁別所在所前、十一時―零時半南富岡公民館前、午後一時―四時半松ノ中さんわデパート前◇二十六日＝午前九時―正午本町あさき前、午後一時―四時竹町浜の湯前◇二十九日＝午前九時―十一時半柴町県水試前、正午―五時下町、小名浜バス待合所わき五叉路内◇十一月一日＝午前九時―四時、磐城市役所車庫内

三つの謎

半七捕物帖の第一弾



☆物語☆

東映　次週上映

第一の謎

江戸でも名の通っている油問屋津の国屋の娘お きよが、菩提寺である永昌寺で縊れ死んだ。

おきよは、千束のない津の国屋に迎えられたが二年後にお雪が生れ、大きくなるにしたがって気まずくなり、八王寺の実家へ帰したものだった。

おきよの四十九日の夜、ローソクが倒れて仏壇が燃え、小唄師匠の文字春が、おきよと同じ柄の着物を着た娘に会い、それを聞いた御用聞桐畑の常吉も無人横町で飛鳥のような娘の姿を見失うという奇怪な事件が続発した。

第二の謎

裏庭金流岩下道場の主佐内が、山王の森で後頭部にばっさり殺られた事件が起った。半七は佐内の妻おそよ、門弟の平田、神坂の両人から「自殺に殺られた梅井源右衛門の仕業」だという奇怪な届にお びき出されて殺された、という申立てに首をかしげる。

事件の朝、腰に巻という遊び人が左内に試合を申込み、さんざんな目にあったことを聞いた半七は余をたくって、その遊び人が頓馴染の伊太郎であることを知り、奇怪な声の主が、南ばん渡来の伝声管スウフラであることとつきとめた。

横須賀海軍新地の路上で、岩亀楼の新参遊女お英代が酔つてからんでいた。呉人ロイドが誤の浪人者の一刀で首をはねられた。警行所の命をうけ半七は行方不明のお英代と浪人者を求めて活動を開始するお英代は、駒井町の質屋嘉兵衛長屋から売られて来たばかりの、村上治右衛門という浪人者の一人娘であ る……。折も折四月が盛況にあげたものだと称する血まみれの呉人の首を持つたような浪人の一党が、江戸屋指の質商山口屋を襲つて五千両を強奪するという事件が発生した。子分の宰次郎と松吉の働らきで凶人殺しの浪人の身許が割れる。

★きやすと★

半七……片岡千恵蔵
御用の常吉……東　千代之助
伊太郎……鶴田　浩二
文字春……千原しのぶ

孝子愚庵伝記　白い眉（まゆ）　36

須藤春峰　作
吉田富美　画

正岡子規

（一）

この頃五郎はかつ の家で正岡子規に会っている。

子規は松山藩士正岡常人の倅で母は岡藩の儒者大原観山の娘で八重という。父は俳句の出身で俳号を処之丞といい、その後、升と改つた。長じて常規と改め子規は雅号である。

子規六歳の時、父が脳溢血で死んだので、大原家の世話になつた。

子規は幼い時から、立里の弱虫であつたというが、これは大原の祖母から大そう可愛がられ、所謂〝おばあさん児〟として甘やかされ何でも気儘に育つたからしい。七歳の時寺小屋に通つて祖父の